



新型コロナウイルス感染症はまだ終息しておらず、感染症への対応は長丁場になると言われています。新型コロナウイルスの感染予防のためには「新しい生活様式」を実践していく必要があります。

私たち地域包括支援センターでも、『新しい生活様式』を日常生活の中に取り入れ、新型コロナウイルス感染症予防のため対策を講じながら日々活動しています。

感染防止の3つの基本を心がけ、マスクの着用と手洗い消毒の徹底はもちろんのこと、3密（密閉、密集、密接）にならないように配慮しています。

日々お宅を訪問することが多い私たちですが、このコロナ禍では対面する機会を減らすため電話を活用したり、訪問が必要な場合は短時間となるようにし、玄関先などでお話を伺うようにしています。皆さんとお会いできる機会が少なく、ゆっくりお話できない状況が続き寂しいですが、もうしばらくの我慢ですね。



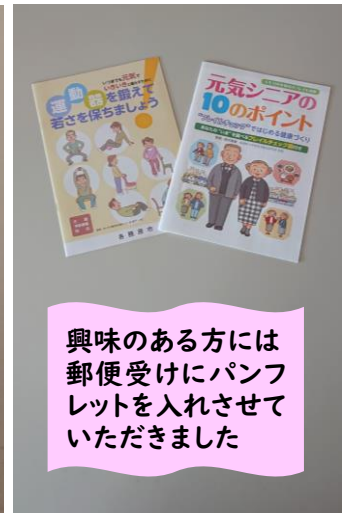
ご相談に来られた方が  
安心していただけるよう  
飛沫防止スタンドを  
取り入れました！！

今回は、今年新たに行った活動も含めて9月までの活動をご紹介します。

5月は、新型コロナウイルス関連の対応施策として、「お元気コール健康チェック事業」（要援護高齢者台帳に登録されている一人暮らしの高齢者に対し、電話による安否確認を行う事業）を行いました。

具体的には、健康状態の確認、食事がしっかり摂れているか、軽い運動をされているか、身近に相談できる人はみえるか等を電話で聞き取りをしながら、フレイル予防に向けての簡単な体操を紹介したり、食生活やお口のケアについてのお話をさせていただきました。

（無断転載を禁じます）



8月は、熱中症対策としてパンフレットをお配りし、熱中症に気を付けていただくよう呼びかけをしました。近年の夏の暑さは厳しいもので、7月～8月は特に熱中症の患者数が増加します。マスクを着用する機会が増えたことで、熱中症になるリスクが高くなるため例年以上に熱中症の対策が必要と考えました。

今年、市から各包括支援センターにカロリーメイトゼリーの配布があり、要援護高齢者台帳の登録者や独居の高齢者、総合相談で虚弱と思われるような人などに対して、熱中症予防、低栄養予防を目的としてカロリーメイトゼリーをお配りしました。

(※各務原市と大塚製薬は「健康づくりの推進等における連携協力に関する協定書」を締結しています)



10月以降は、県や市からの指針に基づき、感染症対策を徹底した上で、対面での会議・研修会・出前講座等を少しずつ再開することを検討しています。新型コロナウイルスが早くおさまってくれることを祈っています。

地域包括の活動について、この通信について、など、ご意見お待ちしております。

電話058-371-2226 FAX058-371-8431 (担当 長谷川・石川・林・中村)

(無断転載を禁じます)